

平成21年度第7回（第14回）高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会

「高浜地区分科会」議事要旨

1 日 時 平成22年1月18日（月） 午前10時40分～12時

2 場 所 高洲コミュニティセンター 講習室1

3 出席者

(1) 委 員 12人

＊欠席委員：大西委員、篠塚正則委員

(2) 事務局 古舘主幹、加茂主査、伊藤主査補

(3) 傍聴者 5人

4 報告及び議題

(1) 報告 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合に係る保護者からの意見・要望について

(2) 議題1 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について

(3) 議題2 次回開催日時・場所について

5 会議資料

(1) 高浜第二小学校・高浜第三小学校統合場所検討資料

(2) 【参考】高浜第二小学校・高浜第三小学校統合シミュレーション

6 会議の概要

(1) 報告 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合に係る保護者からの意見・要望について

新設統合校の開校時期や場所について、保護者から寄せられた意見・要望が報告された。

(2) 議題1 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について

新設統合校の場所は、現高浜第三小学校の位置とすることが決定した。

(3) 議題2 次回開催日時・場所について

平成22年2月15日（月）に、高浜地区分科会として高洲コミュニティセンター講習室2で開催することとした。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

本日は寒い中、施設見学ご苦労様でした。前回の協議により、高浜第二小学校と高浜第三小学校の統合時期は平成24年4月ということが合意された。本日は新設統合校の設置場所について協議していただくので、よろしくお願ひしたい。

(2) 協議

報告 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合に係る保護者からの意見・要望について

<池田議長>

前回の協議会で、高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合時期は平成24年4月に決定した。このことについて統一したお知らせを事務局に作成していただき、保護者の皆様に配布するとともに、ご意見・ご要望があれば出していただくことになっていたのので、各保護者会の代表者から報告をお願いしたい。

<西野委員>

高浜第一小の保護者からの意見・要望はなかった。

<松岡委員>

統合の時期についての意見はなかった。統合場所については、アンケート調査を行ったので、その結果を報告したい。設問は次のとおりであり、自由記述の欄も設けた。

設問：新設統合校の位置は、

- ア 現高浜第二小学校の位置が妥当である。
- イ 現高浜第三小学校の位置が妥当である。
- ウ どちらでもかまわない。

現在在学している107世帯中、63世帯に回答いただき（回収率58.8%）、次のようであった。

ア 28世帯（44.4%）

「高浜第二小の位置が妥当である」と答えた方の主な理由としては、「現在の高浜第二小周囲の環境がとてもよく、地域との密着性があること」や「通学の安全性が確保されていること」、「高浜地区の小・中学校の配置のバランス」などであった。高浜第二小を卒業した保護者もいて、母校に愛着を持っていることがうかがえた。

イ 9世帯（14.3%）

「高浜第三小の位置が妥当である」と答えた方の主な理由としては、「職員室からグラウンドが見える等、校舎の形状や配置がよいこと」、「子どもルームが隣であること」、「中学生との交流や小中一貫教育を検討しやすこと」などであった。

ウ 26世帯（41.3%）

「どちらでも構わない」と答えた方の意見としては、「思い入れはどちらの学校も同じなので、子どもたちが快適に学校生活を過ごせるようにしてほしい」、「通学路の安全確保ができればよい」などであった。「高浜第三小の施設を見たことがないため判断が難しい」という理由もあった。

<本間委員>

「統合前に両校の交流を行った方がよい」「通学路の安全確保のために信号機を設置してほしい」という、2件の要望があった。

<行木委員>

高浜中学校の保護者からの意見・要望はなかった。

<池田議長>

事務局から補足することはあるか。

<事務局>

統合に向けての意見・要望等については、統合が決定した後に設置する統合準備会において協議していく。統合が決定した高洲第一小と高洲第二小、そして真砂地区においては、現在、統合準備会で協議を進めているところである。統合準備会は、地域の代表、保護者会代表として会長と副会長、準備に関わる教育委員会内各課の担当者、そして学校長、教頭、教務主任といった学校の代表者で組織される。この会において、統合校の教育内容等、新しい学校づくりに向けての検討課題やスケジュールについて協議される。

協議の内容については、保護者に「統合準備会だより」としてお知らせするほか、教育委員会のホームページでも公開している。

高浜第二小と高浜第三小についても、統合が決定された後、統合準備会を設置し、新しい学校づくりに向けて協議していきたい。

<多田委員>

地元代表協議会委員にも、統合準備会だよりを配布してほしい。

<事務局>

配布するようにしたい。

議題 1 高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について

<池田議長>

それでは、議題（１）「高浜第二小学校と高浜第三小学校との統合場所について」協議したい。

前回の協議において、両校の敷地・グラウンドの面積、校舎の形状等を勘案すると高浜第三小学校が望ましいという意見が多く出されたが、実際に校舎の状況等を見学した上で決定することとし、本日施設見学会を実施した。

本日は、各委員の皆様から、施設見学会の状況を踏まえ、改めて、ご意見を伺いたいと思う。

<伊藤委員>

特にありません。

<多田委員>

高浜南団地では、1月10日に南団地と3丁目にある1戸建ての住民に声をかけ、意見交換会を行った。その中で出た次のことについて確認したい。

- ・現在それぞれの学校にある防災施設や子どもルームは、統合後どうなるのか。
- ・高浜第二小には、I s 値が0.66という耐震基準に満たない校舎がある。その対応はどうするのか。
- ・今後、統合が決まったら、地元への説明会は実施するのか。
- ・「職員室から校庭が見えない」といった施設の不備については、改修すればよいのではないのか。
高浜第二小の校舎は増築できるようになっているので、検討してほしい。
- ・通学路の安全確保に十分配慮してほしい。信号機や防犯灯の設置、中高浜公園の樹木の伐採が必要である。

<事務局>

統合校の施設は、基本的には現状の学校施設を有効に活用していくこととしている。両校とも、学校教育施設として足りないものはない。防災施設、例えば非常用井戸や子どもルームについては、担当する所管で判断することになる。耐震については、耐震改修促進法等により耐震指標が0.6以上であれば「倒壊の恐れは少ない」としている。もし十分でなければ、もちろん耐震補強を行うことになる。地元住民の方への統合の周知については、協議会で統合の要望書がまとまった段階で行いたい。保護者や地域の方への説明会は、新設校の施設や教育内容等がまとまった段階で行う予定である。

<多田委員>

非常用井戸等の防災施設については、所管する部署で判断するということだが、地元の要望に十分配慮してほしい。また、どちらの施設を使うのかということだが、高洲地区の分科会では、地域の中のバランスを考えて判断したと聞いた。どのような経緯で決まったのか。

<事務局>

防災施設等については、統合校の設置場所が決定した後、地域のバランスを考えながら、担当所管が判断することになる。高洲第一小と高洲第二小の統合校の設置場所の検討にあたっては、両校の校舎の形状や配置が全く同様であり、その観点ではどちらとも判断がつかなかったため、地域のバランスが判断材料となった。

<猪野委員>

高浜6丁目は、来年度入学する子どもが2人という状況であるが、その保護者から「平成24年から磯辺第三小に通学するのなら、初めから磯辺第三小に入学させたい」という要望があった。それについてはどうか。

<事務局>

それはできないが、来年高浜第二小に入学する子どもは、平成24年4月以降も引き続き統合校に通学することは可能である。

高浜6丁目については、「統合を機に磯辺第三小学校に学区変更する」という要望が出ているので、統合校が開校する平成24年4月に入学する子どもからは、兄弟が統合校に在学していなければ磯辺第三小に通学することになる。このことについては、これまでも確認し、自治会から了解を得ている。この協議会において、学区の変更も含めて協議してきたことをご理解いただきたい。

<松岡委員>

高浜第二小でアンケート調査を行ったところ、高浜6丁目の保護者からは「磯辺地区の学校に通学させたい」という意見が多かった。磯辺第二中あるいは磯辺の統合中学校に通学させたいという思いはあるが、小学校については固執していないようである。

<猪野委員>

状況は了解した。持ち帰って最終的な確認をしたい。

<杉山委員>

本日、施設見学をさせていただき、高浜第三小の方が校舎内は明るいと感じた。また、校庭は高浜第二小の方が広く感じたが、一本型の校舎の方が子どもたちも過ごしやすいのではないかと。

<大和委員>

前回申した通り、現状の施設を改修して利用するとなると高浜第三小の方がよいと思う。これから何十年も使うのだから、先を見て判断した方がよい。照明の明るさ等は、改修時に配慮してほしい。非常用井戸等は地域の財産でもある。地域の中の学校なので必要なものは残した方がよい。跡地の利用についても、人を選んでしっかりと話し合っしてほしい。

<行木委員>

本日見学させていただき、両校ともきれいに使われていると感じた。高浜第三小は廊下の見通しがよい。また、廊下に余裕スペースがあるので、全体的にみると三小を使うことが望ましいと思う。防災施設や子どもルーム等、必要な施設については設置してほしい。

<本間委員>

使い勝手は高浜第三小の方がよいと思う。

<松岡委員>

本日、高浜第三小の校舎を拝見して、学校内が明るいと感じた。高浜第二小は、校舎のつくりのためなのか、2・3階は明るいが1階は暗い。高浜第三小の方が開放感はあるように感じた。

<西野委員>

校舎の形状、校舎内の明るさ等から高浜第三小がよいと思う。

<池田議長>

各委員から一通り意見を聞いたが、さらに意見があればお願いしたい。

<多田委員>

現状では、皆さんが言われる通りだろう。高浜第二小は照明設備が古く、排水管等が外付けとなっている。照明設備はともかく、配管を直すことは難しいだろう。高浜第二小学区の自治会としては高浜第二小を統合校としたいが、施設に差があることに愕然とした。ただし、学校内での子どもたちの移動を考えると、高浜第二小の方がよいと思うので、第二小を改修してほしいと思う。

<池田議長>

他に意見がなければ、会長のご意見を伺いたい。

<篠塚会長>

本日両校を拝見させていただき、現高浜第三小を統合校として利用することを推したい。通学路の安全確保や防災設備等については、十分に配慮してほしい。

<池田議長>

統合校の場所は、現高浜第三小の位置としてよいか。

「各委員からの異議はなし。」

<池田議長>

それでは、高浜第二小学校と高浜第三小学校の統合校の位置については、現高浜第三小学校の位置としたい。事務局で文書を作成し、保護者等に周知してほしい。

<大和委員>

話を変えて申しわけないが、本日の協議に参加して、施設の配管等、様々な視点で委員の方が見ていることに感服した。

<池田議長>

配管については、清掃等の管理が難しいことがあり、施設の形状によっては外付けの方がよい場合もある。高浜第三小のように一本型の施設の方が施設管理はしやすいだろう。

<本間委員>

中高浜公園の木を伐採してフェンスをつくると聞いたが、その際に公園側にも歩道を設置できないだろうか。反対側の歩道だけでは、中学生や高校生とかけ合うこともあり、朝夕の通学の安全が心配である。

<事務局>

所管課に確認したい。今のような要望があれば、この場でも出していただければ要望書に盛り込むかどうかを検討できると思うがいかがか。

<池田議長>

せっかくの機会なので、要望等を出してほしい。

<松岡委員>

高浜第二小の保護者からは、通級指導教室の存続と特別支援学級・ことばの教室の設置、省エネと使いやすさに配慮したトイレ・ロッカー等の改修、校庭の芝生化、通学路の安全確保などの要望が出ている。高浜第三小では、登下校時にどこの門を使っているか。

<本間委員>

子どもたちが使っている門は3か所ある。登下校時は門を開けるが、その後は安全確保のために閉めている。南団地の方から登校する場合は、校庭側にある西門からだに近い。

<多田委員>

通学路については、信号等の設置と稲毛高校や附属中に通学する中学生や高校生との分けも必要だろう。信号機については、郵便局前に設置してほしいという要望を自治会から県警に出している。子どもたちの通学を考えると、新聞店の前に設置した方がよいが、距離が短いので2か所は無理だろう。

<大和委員>

稲毛高校前の道路の信号機をどこに設置するかは、保護者の意見も聞いて検討すべきだろう。

<池田議長>

あの道路には、稲浜ショップから稲毛高校前の信号の他にもう1か所は必要である。高浜第三小の改修が終わるまでは、現高浜第三小の子どもたちは現高浜第二小にしばらく通学することになる。そのことも踏まえて検討したい。

本日出された意見をもとに会長、副会長、事務局で要望書の案を作成したい。

<事務局>

『統合に関する要望書』の主眼は、「いつ、どこに新設統合校を開校するか」ということである。通学路の安全確保等の課題は要望書に盛り込むことも可能だが、統合準備会の中で具体的に検討していくことになるだろう。統合が正式に決定しないと、具体的な課題解決に向けての協議ができないことをご理解いただきたい。

<多田委員>

跡施設活用については、いつ、どこで協議するのか。

<事務局>

統合を市として決定した後、地元代表協議会で協議し、『跡施設活用についての要望書』を市に提出していただく。

<松岡委員>

今日の協議の結果についての文書を事務局に作成していただく際に、お願いしたいことがある。文書に、「高浜第二小と高浜第三小の統合校は、新設統合校として開校する」ということを明記してほしい。高浜第三小に高浜第二小が吸収されるというイメージではなく、新しい学校として生まれ変わるという意識を両校の保護者や地域の方に持ってほしい。

<伊藤委員>

学校名も変わるので、そういった意識も生まれるだろう。

議題2 次回開催日時・場所について

<池田議長>

今回は、高浜地区分科会として開催し、「統合に関する要望書（案）」について、協議したい。2月15日（月）としたいが、いかがか。

「異議なし。」

<池田議長>

異議がなければ、今回は、高浜地区分科会を2月15日（月）に開催する。場所は高洲コミュニティセンター講習室2とするので、ご出席をよろしくお願ひしたい。なお、開催日については各組織の方にもお知らせいただきたい。この会は傍聴が可能なので、よろしくお願ひする。他になければこれで議事を終了したい。

(3) 連絡

- ・今回の議事要旨は、これまで通り委員の確認を経た後、ホームページ等で公開する。
- ・今回の協議内容、決定事項等の保護者に対するお知らせについては、統一したものを事務局で作成する。案を作り保護者代表の方にご確認いただいた上で配布するので、よろしくお願ひしたい。
- ・次回の高浜地区分科会までに会長、副会長、事務局で「統合に関する要望書（案）」を協議し、作成したい。今回は、それをもとにご協議いただきたい。高浜6丁目自治会におかれては、学区変更の件については、協議会での協議を踏まえ、再度確認してほしい。

(4) 閉会

<篠塚会長>

真摯な協議ありがとうございました。統合の時期は平成24年4月、統合小学校の場所は現高浜第三小学校の位置となった。今回は要望書の内容について協議していただくので、引き続きよろしくお願ひしたい。